

2026年度
事業計画書

自 2026年 4月 1日

至 2027年 3月31日

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
(ノーステック財団)

2026 年度事業計画 目次

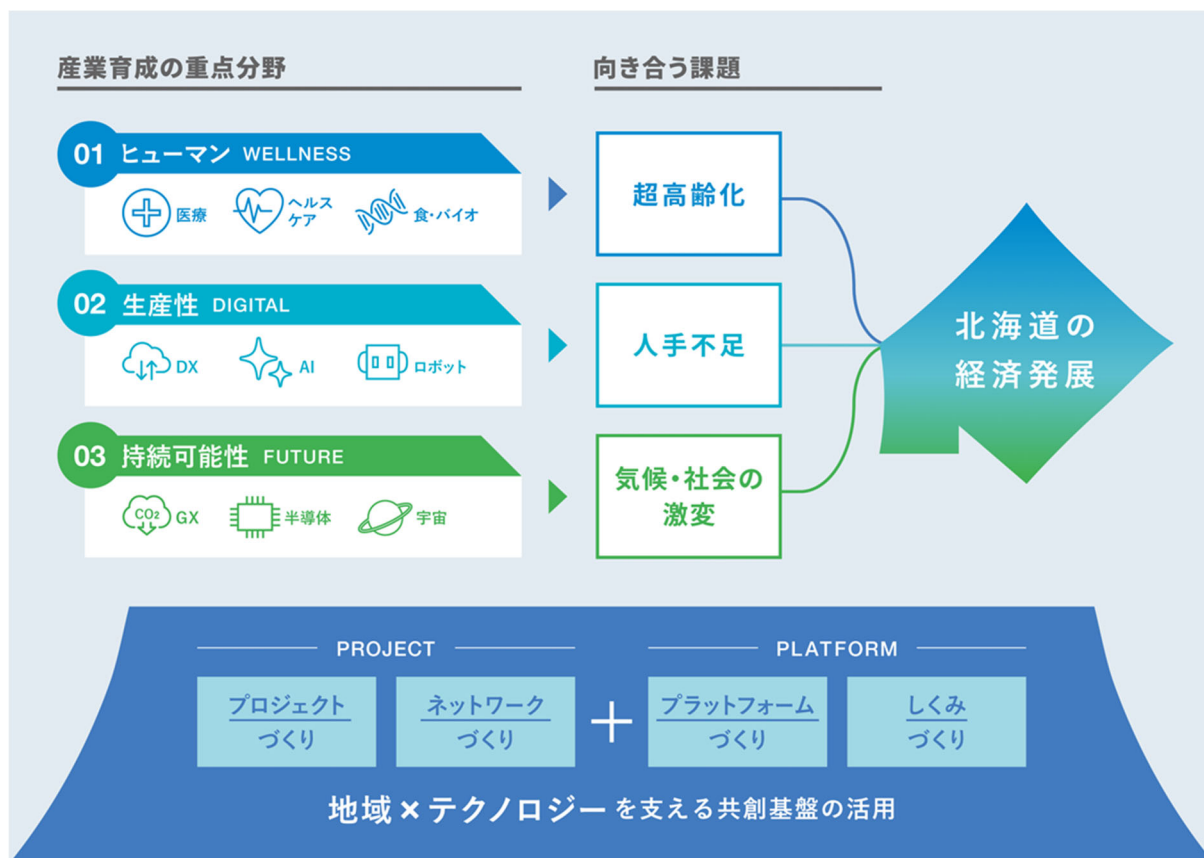
2026 年度 事業方針.....	3
1. 地域×テクノロジーを支える共創基盤	4
(1) 技術シーズ・人材の育成と事業創出プロジェクトの推進	
①次世代産業の技術シーズの発掘・育成（研究開発助成）	
②大学発スタートアップの創出支援	
③産学連携プロジェクトの推進	
④地域企業の新技術・新製品創出支援	
(2) 共創プラットフォームの構築	
①イノベーション・エコシステムの構築（産学官連携プラットフォーム形成）	
②省力化・生産性向上プラットフォームの創出と推進	
③地域産業クラスターの創出と推進	
④財団独自のナレッジプラットフォームの構築と活用	
2. 課題解決と経済発展に向けた産業育成（3つの視点）	6
(1) ヒューマン（医療・ヘルスケア産業による生活の質の向上）	
①医療・ヘルスケア産業の創出と育成	
(2) 生産性（地域企業の DX・AI 活用による稼ぐ力の向上）	
①地域企業の生産性向上支援	
(3) 持続可能性（強靱な北海道産業創出）	
①未来を見据えた産業創出支援	

2026年度 事業方針

北海道は、少子高齢化や人口減少の進行に伴う超高齢化・人手不足の深刻化に加え、気候変動をはじめとする社会環境の急激な変化に直面している。一方で、再生可能エネルギーの豊富なポテンシャルや、次世代半導体、AI データセンター等の集積、「GX/AI 金融・資産運用特区」の取り組みなどにより、産業構造転換と持続的成長に向けた重要な局面を迎えている。

2026年度、ノーステック財団は、これらの課題と成長機会を的確に捉え、「2030 ビジョン」の実現に向けて「後期アクションプラン（2026～2030年度）」を開始する。これまでの取り組み成果や蓄積されたネットワークを最大限に活用しながらプロジェクトづくりを進めるとともに、産学官の連携基盤や支援の仕組みを整備するプラットフォームづくりを一体的に展開し、地域とテクノロジーを支える「共創基盤」の強化を図る。

重点分野として、医療・ヘルスケア産業におけるデジタルヘルス・スマートケアの成長支援、地域企業の生産性向上に向けたロボット・AI の導入促進、一次産業における最新技術の社会実装や食の高付加価値化、GX・半導体・宇宙など次世代産業の育成を推進する。また、スタートアップについては、研究シーズの発掘・伴走による創出支援に加え、他機関との連携を強化し、成長段階の支援にも取り組む。



後期アクションプラン（2026～2030年度）の基本構想

1. 地域×テクノロジーを支える共創基盤

(1) 技術シーズ・人材の育成と事業創出プロジェクトの推進

研究開発支援や新事業創出支援を通じて、挑戦意欲の高い研究者や企業とのネットワーク形成を促進する。さらに、企業の成長や社会課題の解決につながる具体的なプロジェクトを創出し、その展開を加速する。

①次世代産業の技術シーズの発掘・育成（研究開発助成）

大学等の産学連携部門や地域企業のネットワークを活用し、北海道産業の活性化や道民生活の向上に寄与する技術シーズを発掘する。さらに、研究開発助成により、社会的インパクトの大きい技術シーズを重点的に育成する。

●活用する事業（予算）

- ・若手研究人材育成事業（札幌市補助・自主）
- ・イノベーション創出研究支援事業（北海道補助・自主）
- ・札幌イノベーション事業化支援事業（札幌市補助）
- ・半導体/GX 関連技術シーズ育成事業（自主）

②大学発スタートアップの創出支援

北海道大学を主幹機関とする「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク（HSFC）」に共同機関として参画し、道内大学・高専における新たなシーズの発掘や伴走支援を実施する。GAP ファンドの募集・選考、VC とのマッチングに向けた DEMO DAY の開催など、大学技術シーズ発の起業支援を総合的に推進する。

●活用する事業（予算）

- ・スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（科学技術振興機構委託）

③産学連携プロジェクトの推進

中小企業やスタートアップが、大学や公設試験研究機関と連携して取り組む新事業創出や社会課題解決につながる産学連携プロジェクトの創出を総合的に推進する。マッチングによるプロジェクト体制の構築支援をはじめ、外部資金獲得に向けた伴走支援、事業化に向けた課題解決を支援する専門家派遣、さらに外部資金を活用したプロジェクトの運営支援など、総合的な支援を行う。

●活用する事業（予算）

- ・成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）（経済産業省補助）
- ・スマート農業技術の開発・供給関係事業（農研機構委託）
- ・チャレンジフィールド北海道事業（自主）
- ・次世代プロジェクト創出推進事業（自主）

④地域企業の新技術・新製品創出支援

地域企業の付加価値向上に向けた新技術・新製品の開発や事業化促進を支援することで、地域企業の稼ぐ力を総合的に高める。また、支援を通じて意欲的な企業群との接点構築や関係強化を図り、事業化に至る一連のプロセスを可視化して、その横展開を推進する。

●活用する事業（予算）

- ・HOF00 プロジェクト（自主）
- ・先端研究産業応用検証事業（札幌市補助）
- ・医療連携開発支援事業（札幌市補助）
- ・ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業（札幌市補助）
- ・ものづくり産業育成支援事業（自主）

(2) 共創プラットフォームの構築

地域イノベーション・エコシステムにつながる「共創基盤」の構築を目指し、各種プラットフォームの構築・運営・参画を行う。

①イノベーション・エコシステムの構築（産学官連携プラットフォーム形成）

社会課題解決や新たな価値の創造に向けて、大学などの「知」を活用した産学官が協働してイノベーションを創出するプラットフォームを構築・運営するとともに、産学連携コーディネーターなどの支援人材の育成・ネットワーク強化を行う。また、イノベーション・エコシステムの原動力であり、地域産業変革の触媒となるスタートアップの創出支援と、その成長を後押しする取組みを道内外のオープンイノベーション推進機関などと連携して進める。

●活用する事業（予算）

- ・北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大 R&BP 推進協議会委託）
- ・【再掲】チャレンジフィールド北海道事業（自主）
- ・【再掲】スタートアップ・エコシステム共創プログラム事業（科学技術振興機構委託）
- ・コラボほっかいどう運営事業（自主）

②省力化・生産性向上プラットフォームの創出と推進

ものづくり産業における人材確保や担い手不足の解決に向け、デジタル・ロボット等を導入した省人化・省力化の導入支援基盤ネットワークを構築する。

●活用する事業（予算）

- ・製造拠点省人化・省力化支援事業（自主）

③地域産業クラスターの創出と推進

地域の産業クラスター形成を促進するため、地元自治体と一層の連携を図るとともに、海外への販路開拓を視野に入れた市場拡大の取組みなどの各種支援機能を充実しながら、HOF00プロジェクトを推進する。また、気候変動などの変化に対応した北海道独自の食関連産業クラスター創出のモデルとして、「さつまいも北海道プロジェクト」など、新たな資源を活用する成功モデルケースの構築に向けた取組みを進める。

●活用する事業（予算）

- ・【再掲】HOF00プロジェクト（自主）
- ・さつまいも北海道プロジェクト（自主）

④財団独自のナレッジプラットフォーム構築と活用

研究開発支援や新事業創出支援のデータや、共創プラットフォームに参画する企業・支援機関、財団と協働する専門家のデータをAI活用により統合して活用することで、財団全体が有する人的ネットワークやナレッジの組織的な活用を強化し、有機的なつながりを効率的・効果的に創出する仕組みを構築する。

●活用する事業（予算）

- ・【再掲】次世代プロジェクト創出推進事業（自主）
- ・未来創造事業（外部資金・自主）

2. 課題解決と経済発展に向けた産業育成（3つの視点）

(1) ヒューマン（医療・ヘルスケア産業による生活の質の向上）

超高齢社会という構造的課題に対し、医療・介護分野にとどまらず、食・運動・睡眠・住環境などウェルネス向上に向けた幅広い領域の課題解決に伴う新産業の創出に貢献する。

①医療・ヘルスケア産業の創出と育成

医療・ヘルスケア産業への新規参入や新事業展開を目指す企業やスタートアップを対象に、ビジネスマッチングや事業化に向けた伴走支援に取り組む。特に、デジタル技術を活用し、予防医療・セルフヘルスケア・スマートケア等の新たな課題解決に挑戦するスタートアップの事業展開を後押しし、次世代のウェルネスビジネスの創出と成長を促進する。

●活用する事業（予算）

- ・医療・ヘルスケア産業新規参入支援事業（札幌市補助）
- ・展示商談会等参加支援事業（札幌市補助）
- ・ヘルスケア関連製品開発促進事業（外部資金）
- ・機能性食品開発支援事業（外部資金）

(2) 生産性（地域企業の DX・AI 活用による稼ぐ力の向上）

人手不足という構造的課題に対し、生産性の向上による持続的な生産体制を維持できる産業構造への転換に貢献する。

①地域企業の生産性向上支援

ものづくり産業における人材確保や担い手不足の解決に向け、研修会等による人材育成、工場診断、供給事業者とのマッチング等の伴走支援を通して、製造拠点（工場等）におけるロボット・AI 導入を促進し、フィジカル AI 等の先進的なデジタル技術を活用した生産性向上の支援に取り組む。

●活用する事業（予算）

- ・地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業(北海道補助)
- ・ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業（外部資金）
- ・生産性向上促進事業（自主）
- ・ものづくり企業ロボット導入モデル事業（札幌市補助・自主）

(3) 持続可能性（強靱な北海道産業創出）

気候変動や社会システムの変化を成長機会と捉え、将来の地域産業を牽引することが期待される重点分野を見据えた取組を推進することで、新たな地域産業基盤の形成と持続的な成長に貢献する。

①未来を見据えた産業創出支援

半導体、宇宙、GX など、新たな産業基盤の創出可能性を検証するとともに、北海道を実証フィールドとした新技術の研究開発・実証試験を支援する。中長期的な視点のもと、社会課題の解決や地域資源の利活用を成長の原動力へと転換し、新たな産業基盤創出と定着を推進する。

●活用する事業（予算）

- ・【再掲】未来創造事業（外部資金・自主）
- ・幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助・幌延町補助・共同研究）

以上